

「描いてみようトンパ文字」トンパ文字学習シート（1）家畜に関する文字

トンパ文字は、雲南省の西北部に暮らすナシ族の文字です。宗教をつかさどるトンパと呼ばれる人々だけが、儀礼で唱える文句を書き記しておくために使ってきました。その多くが、ものの形を絵のようにかたどった象形文字です。まずは生活に身近な文字からなぞって練習して、ナシ族の人たちの暮らしを想像してみましょう。描きやすいところから始めて大丈夫です。

「綿羊」 左右に大きく開いた2本の角で綿羊をあらわします。

\* ナシ族の家畜は綿羊が多く、総称としての「家畜」を意味することもあります。



「牛」 湾曲した角で牛をあらわします。



「豚」 上に反り返った鼻と頭の上の毛で豚をあらわします。



「鶏」 頭の上のとさかと尖ったくちばしで鶏をあらわします。



「描いてみようトンパ文字」トンパ文字学習シート（2）動物に関する文字その1

「ねずみ」 <sup>ふた</sup>二つの丸い耳と<sup>まる</sup>ひげでねずみをあらわします。



「とら」 <sup>とくちよう</sup>特徴のある<sup>からだ</sup>体の<sup>もよう</sup>模様で虎をあらわします。



「うさぎ」 <sup>なが</sup>長い耳と<sup>みみ</sup>ひげでうさぎをあらわします。



「竜」 <sup>ほん</sup>2本の角が<sup>つの</sup>特徴的ですが、<sup>とくちよう</sup>竜の<sup>か</sup>描き方<sup>かた</sup>はいろいろで、これは一例にすぎません。

\* <sup>ちゆうごく</sup>中国で<sup>しんじゆう</sup>神獣とされる<sup>くわうそうじよう</sup>空想上の<sup>どうぶつ</sup>動物で、<sup>な</sup>ナシ族<sup>ぶんか</sup>の文化にも取り入れられています。



「へび」 <sup>なが</sup>長い舌と<sup>した</sup>上に<sup>うえ</sup>あ<sup>あ</sup>げることのできる<sup>くび</sup>首で蛇をあらわします。



「描いてみようトンパ文字」トンパ文字学習シート（3）動物に関する文字その2

「馬」 たてがみと特徴のある口と鼻で馬をあらわします。



「猿」 頭の上の毛と丸みを帯びた耳が猿の特徴です。



「犬」 ぴんと直立した両耳で犬をあらわします。



「猪」 豚との違いを体の毛であらわします。

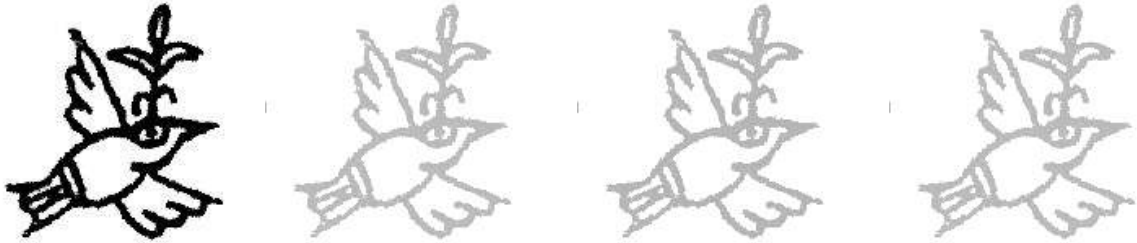


「熊」 両耳の上の黒い点で熊をあらわします。



「描いてみようトンパ文字」トンパ文字学習シート（4）鳥と昆虫に関する文字

「鳥」頭の上に花をのせている鳥の形で鳥全体を総称します。



「くじゃく」頭の上の羽でくじゃくをあらわします。



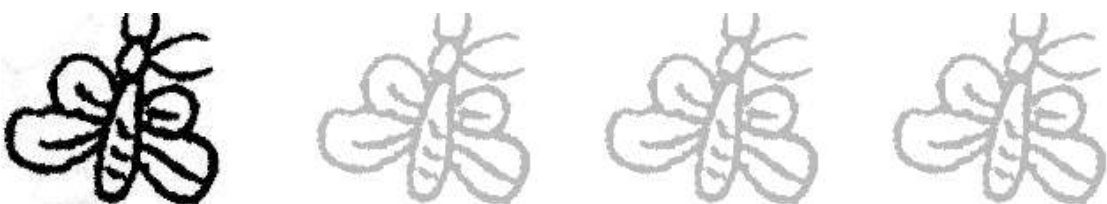
「虫」虫の幼虫の形で総称としての虫をあらわします。



「みつばち」おしりの針でみつばちをあらわします。



「蝶」対になった大きな羽と湾曲した触角で蝶をあらわします。



「描いてみようトンパ文字」トンパ文字学習シート（5）数字

1は、横に棒を短く引いてから縦に線をおろして1を書いたような形です（横棒をもう少し長く引くこともあります）。9までの数字は、1の文字をその数だけ並べます。10は×印のような形です。

1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
20				
25				

「描いてみようトンパ文字」トンパ文字学習シート（6）人をあらわす文字

「人」 頭を円で示し、それに手足をつけて人をあらわします。



「私」 人が自分を指さすような形であらわします。



\* 「私」はこのほかに、自分を指さしている形に数字の「5」を加えてあらわすこともあります。「5」はナシ語の発音「ウア」ではなく、チベット語のように（ンガあるいはンゴに近い音）と発音すると、ナシ語では「私」を意味することになります。ここにはトンパ文字やナシ語とチベット語との密接な関係が見られます。

「私」のように、トンパ文字には一つの意味をあらわすのにいくつか違う描き方があることがあります。同じ意味をあらわす、形の異なる文字を「異体字」と呼びます。

「私」（異体字）



「あなた」 ナシ語であなたを意味することばと発音が近い「大豆」のトンパ文字を人にあらわす文字に添えます。大豆の文字はさやの形とも、葉の形とも言われます。



「あなた」（異体字） 人に添える大豆の文字を頭の上にのせる描き方もあります。

